

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	在宅福祉ふれあい事業費補助金	開始 年 度	平成3年度
団 体 名	社会福祉法人函館市社会福祉協議会		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市在宅福祉ふれあい基金の設置および管理に関する条例, 条例施行規則 函館市在宅福祉ふれあい基金の設置および管理に関する条例に基づく補助金交付取扱要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	在宅福祉事業に要する経費を補助するため平成2年度に設置した在宅福祉ふれあい基金の原資および基金運用収入等をもって、概ね65歳以上の一人暮らしの者もしくは夫婦のみの世帯または心身の障がい等により日常生活に支障のある者がいる世帯などに提供する、在宅福祉ふれあいサービス事業、ボランティア地域援助活動支援事業、健康・生きがいづくり推進事業、在宅福祉ふれあい事業の促進に関する事業に対し補助している。
目 的	(目 的) 地域住民の相互扶助の精神と福祉意識の高揚、高齢者等に対する良き隣人関係の醸成を基本理念に、民生委員、町会関係者、ボランティア等による在宅福祉委員会を組織し、高齢者等が住み慣れた地域で、健康で生きがいをもち安心して暮らせる地域社会の実現を図る。
・ 効果	(効 果) 社会福祉協議会が実施主体となり、町会単位で設置している在宅福祉委員会において、在宅福祉サービスを実施することにより、高齢者等の自立促進と社会参加、交流の深化を図り、地域に根ざした在宅福祉活動による地域住民相互の助け合いや思いやりの心が育成され、より一層の地域福祉の増進を図ることができる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	繰入金	計
		市	その他					
収	23	35,237					3,009	38,246
	24	34,846					3,003	37,849
	25	34,206					3,004	37,210
入	26	34,387					3,821	38,208
	27	42,364					4,863	47,227
支	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費	計	
	23	1,953	887	35,406				38,246
出	24	1,980	896	34,973				37,849
	25	1,575	794	34,841				37,210
	26	2,068	921	35,219				38,208
	27	12,156	785	34,286				47,227

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	在宅福祉ふれあい事業費補助金
----------------	----------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域住民の相互扶助の精神と福祉意識の高揚, 高齢者等に対する良き隣人関係の醸成を基本理念に, 民生委員, 町会関係者, ボランティア等による在宅福祉委員会を組織し, 高齢者等が住み慣れた地域で, 健康で生きがいを持ち安心して暮らせる地域社会の実現に大きく貢献するものである。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高齢者等の自立促進と社会参加, 交流の深化を図り, 地域に根ざした在宅福祉活動による地域住民相互の助け合いや思いやりの心を育てていく役割を担っている。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各種事業や組織運営などは自主的に行われている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが, 施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域性などによりそれぞれの在宅福祉委員会の活動等は画一ではなく, 予算の執行についても柔軟な対応が必要とされる。

※適・不適であっても, 説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は, 前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は, 補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	在宅福祉ふれあい基金の原資および基金運用収入等による補助であり, 地域住民の自主的な活動を支援することで, 相互扶助と福祉意識の高揚を図り, 高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会を実現するため, 現行のまま補助を継続することとした。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は, 説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	在宅福祉ふれあい事業費補助金
----------------	----------------

○補助効果の検証

<p>(効果測定方法, 具体的な数値等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅福祉ふれあいサービス事業 (ふれあいサービス事業, 家事援助サービス事業, 給食サービス事業, 訪問理容美容サービス支援事業) ボランティア地域援助活動支援事業 健康・生きがいがづくり推進事業 (世代間交流支援事業, 健康・生きがいがづくり教室開催事業) 在宅福祉ふれあい事業の促進に関する事業 (協力員等の養成指導および研修事業, 広報事業)
<p>(達成状況)</p> <p>平成27年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ふれあいサービス事業 125委員会 5,700世帯 家事援助サービス事業 (家事 20委員会 167世帯, 除雪 40委員会 390世帯) 給食サービス事業 (会食会 88委員会 387回, 茶話会 50委員会 141回) 訪問理容美容サービス支援事業 対象者 11人 ・ボランティア支援事業 32団体 世代間交流支援事業 20回 ・健康・生きがいがづくり教室開催事業 1か所 研修会開催事業 7回 ・地域懇談会開催事業 1回

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



<p>(評価)</p> <p>十分効果をあげている <input type="checkbox"/></p> <p>一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>効果が疑問である <input type="checkbox"/></p> <p>その他 <input type="checkbox"/></p>	<p>(理由)</p> <p>平成3年度に函館市社会福祉協議会が実施主体となり、民生委員、町会関係者、ボランティア等による在宅福祉委員会を組織し、ふれあいサービスや家事援助サービス等の事業を開始。平成5年度からは、在宅福祉に貢献するボランティア団体への支援や生きがいがづくり等の新たな事業を取り入れるなど、一層の地域福祉の増進を図っており、今後も福祉発展の効果が十分期待できる。</p>
--	---

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	➔	<p>(見直しの内容)</p> <p>必要な見直しや改善を図りながら、経費節減に取り組む。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続		<p>(見直しの時期)</p> <p>終期までに見直しする</p>
<input type="checkbox"/> 廃止		<p>(その他の内容)</p>
<input type="checkbox"/> その他		<p>(廃止の理由)</p> <hr/> <p>(廃止の時期)</p>

○終期の設定

<p>終期設定</p> <p>平成30年度</p>	➔	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	➔	<p>次回チェック年度(予定)</p> <p>平成30年度</p>
---------------------------	---	---	---	-----------------------------------